

救われる？

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/1/14

おさらい

- **日本人の神観(人から神へ向かう)**
 - 神は人間の産物であり、必要に応じて作り出す(祀る)
 - 重要なのは何を信じるかではなく、信じる気持ちそのものである
 - 結局は自分を神とし自分を信じている(日本教)
 - しかし、得体の知れないものへの恐れがある
- **神がいるのなら唯一でなければならない**
 - 万物の出発点は一つでなければならない
 - 無限なるものは一つでなければならない

今年の聖句

神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。

テモテへの手紙—2章4～6節

神が望んでおられる事

- 「すべての人々」

- 誰一人神の目には例外はない

- 「すべての人々が救われて」

- 神の目には人間は救われなければならない

- 「真理を知るようになる」

- ① 「神は唯一であり」

- ② 「神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとり」

- 「この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。」

すべての人が救われることを望む神

- すべて的人是は救われなければならない
 - 神の目からはすべての人類は救われなければならない状態である、ということ
- 「救われる」とはどういう意味なのか？
 - 「救われる」という言葉には、自分の力ではどうにもならない、という意味がある
 - 誰かによって救われなければならない
- 救われる必要があるとは思えないけど…
 - 困ったことは起こるけれど、根本的に「救われなければならない」とは思えない

イエスが語った「救い」(ルカ15章)

•「見失った一匹の羊」

•「あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残して、**見失った一匹を見つけ出すまで捜し回らないだろうか。**」15:4

•「無くした一枚の銀貨」

•「あるいは、ドラクメ銀貨を十枚持っている女がいて、その一枚を無くしたとすれば、ともし火をつけ、家を掃き、**見つけるまで念を入れて捜さない**だろうか。」15:8

イエスが語った「救い」(ルカ15章)

•「放蕩息子」

- 父の財産を持って家を出たが、あっという間に使い尽くし、豚飼いに身を落としたが、我に返って父のもとに帰った
- 父は彼を喜んで迎え入れ再び息子とした

• **三つのたとえ話に共通すること**

- 所有者がいる(羊飼い・女・父)
- 大切にしていたものが所有者の元から離れる
- 一生懸命探す・帰りを待ちわびる
- **所有者のところに戻り大喜びする**

イエスが語った「救い」(ルカ19章)

• 徴税人のザアカイ

- 同胞を裏切ってローマ帝国への税金を取り立てる
- ローマの権威を利用して多めに取り立て、私腹を肥やしていた
- 人々は彼を「罪人」と呼んだ(神に呪われた人)

• イエスとの出会い

- 自分の街に来たイエスを一度見てみたかった
- 人々に邪魔されたので木に登って待った
- イエスの方から「今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい」と言われ、大喜びで迎えた

イエスが語った「救い」(ルカ19章)

- これまでの悪事を悔い改めたザアカイ

- しかし、ザアカイは立ち上がって、主に言った。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」

- イエスは、彼が「救われた」と宣言した

- イエスは言われた。「今日、**救いがこの家を訪れた**。この人もアブラハムの子なのだから。**人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである**。」19:9-10

イエスが語った「救い」(ルカ19章)

- これまでの悪事を悔い改めた

- しかし、ザアカイは立ち上がって「主よ、わたしは財産の半分を失います。また、だれかから何かを盗み、それを四倍にして返します。」

イエスに出会って
自分の悪事を認め悔い改めた

- イエスは、彼が「救われた」と宣言した

- イエスは言われた。「今日、**救いがこの家を訪れた**。この人もアブラハムの子なのだから。**人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。**」19:9-10

聖書が語る「救い」とは

- 人間は本来、創造主（所有者）である神の手元にある
 - 神と結びついている
- 神の目にはすべての人は「失われている」
 - 神から離れている（関係がなくなっている）
- 「救い」とは神との関係を回復すること
 - 本来の関係に戻ること

創造主を知らない（認めない）日本人には、
失われている感覚はないし、
救いを理解できない！

それでは日本人は救われないのか？

- 日本人も「救い」を求める時はある、というか困った時にはいつも求めている
 - 神様大好き！
- しかし、日本人が求めているのは困った状態からの「救い」である
 - 効き目があれば何でも良い
- 創造主から離れていることが根本的な原因であって、そこが解決される(救われる)ことがすべての困難の解決だと知る必要がある
 - 対処療法ではなく根本治療！

救われ方（創造主との関係回復）の違い

- 西欧型（創造主を認めている）
 - 分かったうえで創造主に背いている
 - 自分の間違いを認め（悔い改め）る
 - 創造主に立ち帰る
- 日本型（創造主を認めていない）
 - 創造主に背いている感覚はない
 - 人生を考え直す出来事・時期・困難に出会う
 - 創造主との関係回復こそが根本解決だと知る
 - 創造主に立ち帰る

救われ方（創造主との関係回復）の違い

• 西欧型（創造主を認めている）

- 分かったうえで創造主に背いている
- 自分の間違いを認め（悔い改め）
- 創造主に立ち帰る

• 日本型（創造主を認めていない）

- 創造主に背いている感覚はない
- 人生を考え直す出来事・時期・困難に出会う
- 創造主との関係回復こそが根本解決だと知る
- 創造主に立ち帰る

誰かに教えて
もらう必要
がある！

伝えておかなければならない

「主の名を呼び求める者はだれでも救われる」のです。ところで、信じたことのない方を、どうして呼び求められよう。聞いたことのない方を、どうして信じられよう。また、宣べ伝える人がなければ、どうして聞くことができよう。

ローマ10:13-14